

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
専門学校 文化デザイナー学院	昭和51年4月1日	飯村 雅史	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 リリー文化学園	昭和51年1月22日	理事長 大久保 博之	〒310-0021 水戸市南町2丁目3番14号 (電話) 029-224-4820		
目 的	本学科は、ファッション業界において、コーディネーターとして就職並びに活躍できる人材の育成を目指し、コーディネート技術から、仕入れ・販売・ディスプレイ・小売管理に至るまでの専門教育を行うことを目的とする。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
産業デザイン専門 課程	ファッションコーディネート学科	3年(昼)	3000単位時間 (又は単位)	平成23年文部科学 大臣告示第167号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	990単位時間 (又は単位)	1830単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	180単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人	32人	3人	21人	24人	
学期制度	■1学期 ：4月1日～9月30日 ■2学期 ：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 総合評価 A.B.C.D(D=単位不可) 部分評価を総合して4段階で評価する。		
長期休み	■学年始め ：4月8日 ■夏 季 ：7月25日～8月20日 ■冬 季 ：12月25日～1月7日 ■学 年 末 ：3月12日	卒業・進級条件	①出欠は学期内全科目の規定回数を全て満たしている。 ②課題は学期内の規定課題作品を全て提出し、その評価は60点以上である。 ③試験は学期末に行われる期末試験ですべての科目が60点以上である。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) 専任教員が担当する授業のキャリアデザインでは、毎回同じ者が担当する。 また、試験・課題・出欠・就職・学校生活についてはそれぞれの担当がいる。 ■長期欠席者への指導等の対応 電話確認、保護者への連絡、面談など	課外活動	■課外活動の種類 ・キャンドルナイト・茨城県近代美術館ワークショップ・京成通り商店会黄門まつりワークショップ・チョコレートフェスティバル・mito☆ファッションショー・水戸まちなかフェスティバル ■サークル活動 (有・無)		

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界 アパレル販売/雑貨・インテリア販売/フラワー・ショップ管理 ■就職率 100%</p>	<p>主な資格・検定 ファッションビジネス能力認定試験/販売士/サービス接客検定/AFT色彩検定/ネイリスト技能検定/ラッピングコーディネーター/Microsoft office specialist試験/Illustratorクリエイター能力認定試験/Photoshopクリエイター試験/POP広告クリエイター</p>
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 1名 ■中退率 4.4%</p> <p>平成25年4月1日在学者 23名 (平成25年4月入学者を含む) 平成26年3月31日在学者 22名 (平成26年3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 ①経済的な問題での就学困難 ②方向性や適正など進路に対する自信の喪失 ③病気による社会生活・就学困難 ④家庭の事情 (引越など)</p> <p>■中退防止のための取組 対策として、欠席率の段階によって教職員による面談をしている。1段階指導として担当の面接、2段階指導として主任以上の職員による面接を実施している。また、課題の提出状況も把握し適切に指導出来るように、全ての規定課題 (提出義務課題) については教務提出としている。経済的問題に対しても細かく配慮し、保護者との面談を行っている。奨学金や国の教育ローンなどを利用することによる資金計画について相談し、就学困難を回避している。また、昨今増えつつある精神的な病気についても出来る限り配慮することとし、安心して就学出来るように細かい面接等をしている。これらの細部にわたる「学生に対する配慮」が退学率を低くしており、「愛情をもって接する」という一人ひとりのスタッフのスピリッツにより支えられている。</p>	
<p>ホームページ</p>	<p>URL : www.bunka-gakuen.ac.jp</p>	

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

本校は、企業が求める人材ニーズや地域の産業振興の方向性を把握し、職業教育を向上させるために、企業・団体と連携して授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫を行うなど、企業等の要請を考慮した実践的かつ専門的な教育課程の編成を行うこととし、各学科の関連業界の動向や地域の産業振興に関して知見を有する業界団体の役職員や、実務に関する知識、技術、技能に関して知見を有する企業の役職員の方々を委員とする教育課程編成委員会を設置し、様々な意見を活用して教育課程を編成することを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 21 日現在

名 前	所 属
倉田 稔之	茨城デザイン振興協議会
坂 大樹	株式会社 スタジオサカ
椿本 学	いばらき印刷株式会社
小室 忠男	株式会社 水戸京成百貨店
佐久間 一能	株式会社 アーペ
杉浦 時彦	株式会社 アットワーク
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
小川 憲一	茨城県建築士事務所協会
横須賀 弘	有限会社 コムスペースデザイン
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
塙 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(開催日時)

第1回 平成 25 年 10 月 21 日 16:00~18:00

第2回 平成 26 年 2 月 10 日 15:00~17:30

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

本校は教育方針として、「職業実践主義」「プロセス・表現主義」「デザインマインド教育」の三つを掲げている。特にデザインプロセスの実践的学習として「情報収集」→「分析」→「企画」→「デザイン制作」→「プレゼンテーション」までの流れを体験的に学習することは、上記の教育方針を総合的に理解することができると思う。

そのために、地域においてデザインを必要とする企業・団体・自治体と連携して学生に「現実的テーマ」を与え、担当講師の指導の下、一連のデザインプロセスについて質の高いデザイン力を習得することを目的として実習・演習を行うことを基本方針とする。

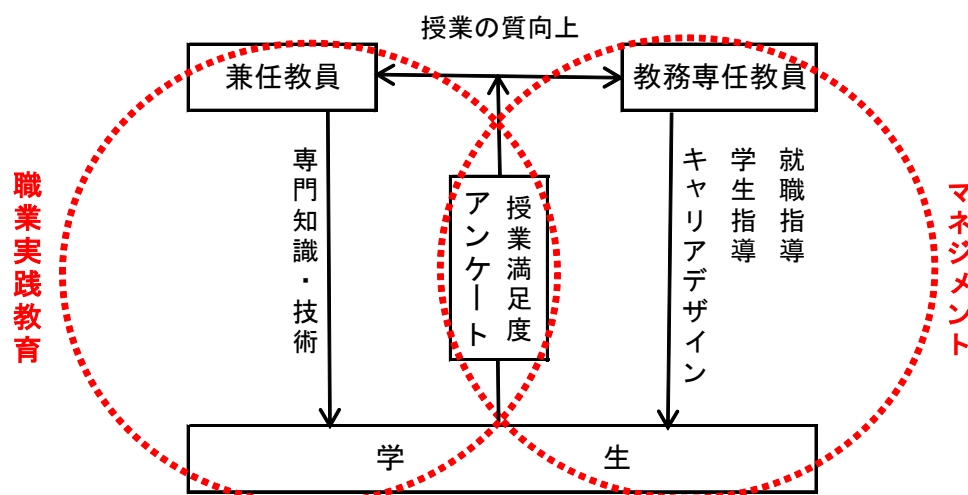
科目名	科目概要	連携企業等
修了制作Ⅰ	ショップで販売されるインテリア雑貨を制作し、住空間にてコーディネートを行う。	株式会社アーペ
修了制作Ⅱ	実際に経営できるような店舗を想定し、ファサードデザインやディスプレイデザインを通して、その店舗のコーディネートを行う。	株式会社水戸京成百貨店
修了制作Ⅲ	自分が経営したいショップのプロデュースを行う。ショップの形状・商品セレクト・経営方針などを設定し一つのショップとしてまとめ上げる。	ひたちなか商工会議所

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「プロによる実践教育」について

本校は、下記図のように、実務に関する知識、技術、技能に関しては「プロの兼任教員」が教授し、学生に対する様々な指導、マネジメントに関しては教務専任教員が担当している。



デザインは、教科書的にまとめられる領域は少なく実務実習型の授業がほとんどである。

従って、授業を受け持つには、例えば、広告デザインの分野では、デザイン構成やDTP技術はグラフィックデザイナーが教え、カラーコーディネートはその有資格者が教え、Webデザインは、Webデザイナーが教えている。インテリアデザインの分野では、設計製図は一級建築士が教え、インテリアコーディネートはインテリアコーディネーターの有資格者が教え、3DCAD（3次元パース）は建築士の中でも、その技術を習得したプロが教える。また、エクステリアデザインに関しては、造園業にも精通したプロが教えるという具合である。また、本校のファッションコーディネートは流通小売業の分野を学ぶもので、商品知識、接客、仕入れ、ディスプレイ、経理、はもとより、ネイルアート、フラワーコーディネート、ラッピング、雑貨・ファッション小物制作等、それぞれの専門的授業に対して、その分野のプロが授業を受け持つことが必要になる。

このような観点から、本校は、ほとんどの授業においてその分野で活躍するプロが授業を担当するため、研修・研究に関しては、プロが行う現場の業務を通して常に先端の技術研修が行なわれているものとする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 10 月 30 日現在

名 前	所 属
中山 宇生	茨城県デザインセンター
岡田 寛和	株式会社光和印刷
竹越 萌野	株式会社藤代範雄デザイン事務所
山田 行雄	水戸ステーション開発株式会社
青木 唯	アスクウォーク有限会社
住谷 強生	株式会社ジェイディーアールスマヤ
桐ヶ谷 るみ子	茨城インテリアコーディネーター協会
石川 忠幸	株式会社棟匠
阿久津 裕司	株式会社根本建築設計事務所
入江 清芳	専門学校 文化デザイナー学院
飯村 雅史	専門学校 文化デザイナー学院
荒井 真次	専門学校 文化デザイナー学院
埴 麻美	専門学校 文化デザイナー学院

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.bunka-gakuen.ac.jp/about/document.html>

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			ファッションビジネス知識	ファッションのビジネス・生活・消費・産業構造・マーケティング・マチャンディング・流通・販売・基礎知識・キャリアプランについて学ぶ	1前	60	4	○		
○			ファッションブランドI	ファッションブランドを分析しトレンドにおける知識の引き出しを増やす。ファッションMAP制作を中心に行う。	1通	60	2	○		
○			ファッションラインナップ	ファッションの基礎的なアイテムを網羅し構成する要素を体系的に学ぶ。組合せや構成によって印象が変わる事を学ぶ。	1通	60	4	○		
○			ファッションコーディネート	ファッション流通・販売促進に不可欠とされるスタイリング。基本的な知識や技術を学び実際のスタイリングへと応用する。	1通	60	2		○	△
○			ソーイング(手縫い)	ファッションの制作技術を身に付け、商品価値の理解力に繋げる。また、商品知識・商品企画における基礎を身に付ける。	1前	60	2		○	
○			ラッピングコーディネート	商品に合わせたり、ラッピングの種類で意味を持たせる事を学び、ラッピングコーディネーターの資格取得を目指す。	1前	30	1		○	
○			コンピュータワーク	ワイスのワークとワードを中心に、コンピュータ技術を身に付け、ファッションショップビジネスシーンの即戦力の幅を広げる。	1通	60	2	○		
○			カラーコーディネート	色彩・明度・彩度など色の特性を理解し、ファッションシーンに活かされる方法を学ぶ。	1前	30	2	○		
○			ファッションクロッキー	描く事のトレーニング。フリーハンドから自分自身の表現へと繋がる描写の楽しさを知り表現する能力を身に付け、スタイリング力に繋げる。	1通	60	2		○	
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ファッションコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			テキスタイル	素材の知識の特性を学び商品企画やコーディネート接客に繋がる知識を養います。素材に触れファッションの中でどの様に活かされるかを学びます。	1前	60	4	○		
○			ネイルデザイン	ベースとなる正しいネイルケアと美しさを際立たせるネイルアートの発想とその具体的な手法を学び、ネイル技能検定の取得を目指す。	1前	60	2		○	
○			ファッション造形知識	ファッションの文化・デザイン文化・コーディネート・商品知識・デザイン・エンジニアリング・パターンメイキングについて学ぶ。	1後	60	4	○		
○			ファッションクリエイトI (手縫い)	ファッションの制作技術を応用して、美的感性と個性の開発も兼ねた構成演習によって人体との関係の中でのファッションに応用展開します。	1後	60	2		○	
○			POPデザイン	どのような状況にも対応できる様、手描きにて作業を行い、お店で使われるPOPの特徴・性質を理解し、様々な道具の活用方法を習得する。	1後	60	2		○	
○			カラーコーディネーター特講	カラーコーディネーターの資格取得を目指す。資格取得対応の授業内容となっている。	1後	30	2	○		
○			ファッション史	ファッションは時代の最先端にあるアート・若者の音楽・そして映像表現などから影響を受け変化してきた。その移り変わりを学ぶ。	1後	60	4	○		
○			アクセサリーデザイン	実際にアクセサリーを制作する事により、ショップに売られているアクセサリーを理解して販売する事を目指す。	1後	60	2		○	
○			キャリアデザインI	自己のアイデンティティを再確認し、将来の専門分野での適正を考える。	1通	60	4	○		
合計										科目 単位時間 (単位)

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ショップコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			マーチャンダイジング	商品/マーチャンダイジングの基本。商品計画/利益追求の基本知識。	2前	30	2	○		
○			ストアオペレーション	ディスプレイデザイン/作業割り当て/人的販売の基本的役割。	2前	30	2	○		
○			ショップCAD	コンピュータによる3D表現。室内空間から家具まで様々なものを3Dにする事により表現力を身に付ける。	2通	120	4		○	△
○			雑貨コーディネート	雑貨とは幅広い商品が存在します。その雑貨を武器にする為、実際に制作することにより、商品の価値を理解する。	2通	120	4		○	△
○			ガーデンデザイン	近年のライフスタイルに合わせたガーデンデザインを実習を通して提案力も身に付ける。また、それらの用具に関しても学ぶ。	2前	60	2		○	△
○			ショップデザインPC	Adobeのイラストレーターとフォトショップを使い、自分の考えた販促グッズや空間&インテリアを表現する。	2通	120	4		○	△
○			ディスプレイデザイン	お店などで商品の特長を活かし、飾れる技術を身に付ける為に実際の模型やプレゼンボードを制作する。	2前	60	2		○	△
○			ファッションデザイン	現在のショップからファッションは切り離せず大きな役割を持っている。その知識を実習を通して学ぶ。	2通	120	4		○	△
○			マーケティング	顧客管理/販売促進/商品の設定と出店/売場づくりの基本的考え方。	2後	30	2	○		
合計				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ショップコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			販売・経営管理	基本業務/法令知識/事務と計数管理/人間関係/店舗管理の役割。	2後	30	2	○		
○			フラワーコーディネート	フラワーアレンジメント・フラワーコーディネートを実務に沿って実習する。また、理論的に学ぶ事を行いお店で扱う事が出来る知識を身に付ける。	2後	60	2		○	
○			アクセサリデザイン	実際にアクセサリを制作する事により、ショップに売られているアクセサリを理解して販売する事を目指す。	2後	60	2		○	
○			修了制作Ⅱ	実際に経営できるような店舗を想定し、ファサードデザインやディスプレイデザインを通して、その店舗のコーディネートを行う。	2後	60	2		○	△
○			キャリアデザインⅡ	社会の中でのアイデンティティを再発見し、将来の専門分野の進路への手がかりを得る。	2通	60	4	○		
合計				科目	単位時間 (単位)			

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ショップコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			internship	企業との実習授業を行う。単に企業で働くだけでなくデザイン実習の流れに沿って行う。	3前	180	4			○
○			雑貨コーディネート	雑貨とは幅広い商品が存在します。その雑貨を武器にする為、実際に制作することにより、商品の価値を理解する。	3通	120	4		○	△
○			ガーデンデザイン	近年のライフスタイルに合わせたガーデンデザインを実習を通して提案力も身に付ける。また、それらの用具に関しても学ぶ	3前	60	2		○	△
○			構想表現	商業施設士二次試験に向け、商業施設の構成計画ならびに店舗設計を学ぶ。	3前	60	2	○		
○			サービス接遇	社会にでて必要なサービス接遇力を学び、最終的にはサービス接遇の資格取得を目指した対策授業。	3前	30	2	○		
○			ショップデザイン研究	ショップデザインコンセプトの研究。ショップを運営する為に必要なディスプレイデザインやショップコーディネートを戦略的に提案できる力を身に付ける。	3前	60	4	○		
○			ショップビジネス研究	ショップを運営・経営する為の知識を身に付ける。商品の仕入れから売上げに渡るまで商品の流れを理解する。	3前	60	4	○		
○			ファッションデザイン	現在のショップからファッションは切り離せず大きな役割を持っている。その知識を実習を通して学ぶ。	3通	120	4		○	△
○			家具デザイン	実際に家具や照明を制作する事により、その必要性や部材や材料について理解する。	3後	60	2		○	
合計										
				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(産業デザイン専門課程ショップコーディネート学科) 平成26年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			フラワーコーディネート	フラワーアレンジメント・フラワーコーディネートを実務に沿って実習する。また、理論的に学ぶ事を行いお店で扱う事が出来る知識を身に付ける。	3後	60	2		○	
○			ショップCADⅡ	トータル的なショップコーディネートをベクターワークスを用いて、プレゼンテーションできる表現力を身に付ける。	3後	60	2		○	△
○			ショップデザインPCⅡ	ショップ運営に必要なポスターやDM・POPなど、ショップに必要な販売促進に繋がるデザインの技術力を身に付ける。	3後	60	2		○	△
○			修了制作Ⅲ	自分が経営したいショップのコンセプトを行う。ショップの形状・商品セレクト・経営方針などを設定し一つのショップとしてまとめ上げる。	3後	60	2		○	△
○			キャリアデザインⅢ	雑貨インテリアを学び身に付けたことを将来どう活かしていくかを確認し行動していく。	3通	60	4	○		
合計				46科目	3000単位時間(125単位)					